

素晴らしい賛美と演奏と、また皆様の合唱が合流して、後ろで聞いていたんですけど、「ほんとにいい時間だなあ」と思いました。緒方さんと岩塚さんと私がコラボレーションするのは今回が2回目で、1回目はウィーンでした。今から十数年前ですが、広い会場じゃなくて家庭集会のお家です。

なぜウィーンに行ったかという、ウィーンにも日本人が住んでいます。その方々に何とか聖書を伝えたいと思って行ったのですが、ある夜、突然キャンセルになって、スケジュールが空いてしまった。

折角ウィーンまで来たので、本場のオペラ聞きたい。世界3大オペラ劇場の1つがウィーン歌劇場です。その伴奏をしているのがウィーンフィル。これは聞きたい。パソコンでチケット調べたら全部ソールドアウト。次の日も全部ソールドアウト。1週間先も2週間先も、大体売り切れ状態。つまり、こういうのは「ちょっと聞いてみよかな」の一見(いちげん)さんでウィーンに行く人はいない。聞くために、日本で予約して行くんですね。

時間が空いて、売り切れと言われて残念…。でも「緒方さんにちょっと頼んでみよ」と。そしたら「やってみます」という事で、簡単にバルコニー席を取ってくださったんですね。

「でも、売り切れって。」「言われましたよ。」「どうやって押さえたんですか?」「でも、あるでしょ。」と。皆さん、あるんです。何のツテもない一見さんの異邦人が「でも、あるでしょ」と言っても何のパワーもないけど、緒方さんはオペラ座のメンバーでもられるし、内部の事もよくご存知。

時々VIPで我儘な人が「思いついた。今から行きたい。何とかしろよ。」そういう人たちのために、特別な席を売らずに残してあるようです。それを聞いた時、持つべきは強力な友人やとつくづく思いましたね。

強力な友人とは、強力な仲介能力を持っている友人。私みたいなものが玄関前で門前払い食らわされて、「そんなだったら、もう二度と行ってやらないぞ!」。痛くも痒くもない。

大体、出し物が『オセロ』と聞いた時、ボードゲーム思い出すような。シェークスピアですよ。

こんな私は門前払い食らってもどうしようもないわけですが、仲介者に実力があれば、その人が持っている信用力や実績や様々な人間的繋がりを通して、私はその問題を難なくクリアする事が出来るのです。

聖書のメッセージとは何か? 天地万物をお造りになった神様は、人間が生きている間、色んな問題に遭遇する事をよくご存知です。そして、人生の最後に死という大問題が控えている事もご存知です。

問題の中には、人の手に余るような難問があるでしょう。しかし、それらの問題をクリア出来るような、神と人との強力な仲介者をこの世界に送るという約束の書物、それが聖書なのです。

神様は私たちの人生の問題を解決するために、強力な仲介者・味方となる方を送ってくださいました。それこそが、人となられた神イエス・キリストなのだと言うのです。

今日は、キリストが私たちのためにしてくださった事を、いくつかのポイントで考えたいと思います。

I ペテロ 3:18 キリストも一度、罪のために苦しみを受けられました。

正しい方が正しくない者たちの身代わりになられたのです。

それは、肉においては死に渡され、霊においては生かされて、あなたがたを神に導くためでした。

全ての人は、キリストによって神に導かれる前は神から離れています。

神に導くためと書いてありますが、ここで言う神は人間が作った神々ではなく、人間を造った神・私たちの作者・あなたの魂の親の事で、聖書は創造主と語っています。

私たちは偶然生まれたのではない。あなたは自然のいたずらや、物の弾みで生まれたんじゃない。あなたが生まれたという出来事は、不幸にして不運な出来事ではないんです。もしかしたら、両親が皆さんの誕生を計画の中に入れていなかった、という方がおられるかもしれませんが、そんな事関係ない。

神様は人のありとあらゆる営みを超えて、御心を実行する方だと聖書に書いてあります。あなたは神の御心で生まれた人です。あなたのお母さんがあなたを身籠る前に、既に神様はご自分の心の中にあなたを思い描いておられました。

ある方はこう言いました。「全てのものは2度つくられる。」
建設会社が高層ビルを建てる時、いきなり工事に取り掛かるような、そんなバカな建設会社はない。まず綿密に設計図を描き、イメージの中で建ててから、物理的に建て始める。
映画監督はいきなりカメラ回して撮影に入る事はしない。まず脚本を書いて、どのように話を進めるかというイメージを自分の中で作ってから、物理的に映画を撮る。
私もラジオでメッセージを語りますが、マイクの前で突然語るんじゃないで、やっぱり準備があるんです。大変苦しんでおります。準備があつて、それから語る。全てのものは2度つくられる。

あなたが生まれる前に、あなたは神様の心の中で思い描かれていました。
「この人が生まれて来てくれたら、どんなにいいだろう。」「この子が人生を生きる中で、わたしは彼のために、こんな祝福や感動を準備して、生まれて来て良かったという生き方を味わわせたい。」
親が子供に夢を託すように、あなたの祝福を願って、あなたを造った方が神なんです。

ところが、私たちは祝福を願って造られているにも拘わらず、実際に生きて行く中で、良い人とばかり出会うわけじゃない。良い事ばかりに遭遇するわけでもない。中には会わなければ良かった、巻き込まれたくない事件に巻き込まれた、嫌な目・ひどい目に遭ったなどという事がある。

なぜ祝福のために造られている人が、祝福の人生を歩く事が出来ないかという、祝福である神から離れているから。私たちのために祝福の計画を準備しておられるけど、私たちが神様から切れているので受け損なっている。神様から離れている事を、聖書は罪と語るのです。

ところで罪と言った時、「私は罪人だ!」とピンとくる方は、聖書が語るメッセージに非常に近いです。もう一息ですよ。続けていらしてください。だけど、日本人に聖書の話をした時の二大引っかけは、「神? 見えへんからいてへん!」2番目は「罪? 俺のどこが罪やねん!」。非常に多い。「なぜ罪が分からないのか」という事を3つ紹介します。

罪が分からない理由の1番目：比較の対照を間違っているから

8月のお盆、暑さがピークの時に、長野県菅平高原でのバイブルキャンプに行ってきました。2泊3日、高原の山荘に寝泊まりしながら聖書の話の聞くという素晴らしい企画。全部終わって現地解散。20人くらいの若者がやって来て、「高原さん、折角だから記念写真に入って下さい。」「いいよ!」で、皆で何回か撮ってたら、最後に1人が「最後の1枚、変顔で撮りましょう。」
“変顔”を辞書で調べたら「人を笑わせるために、おかしい表情を作ること」と書いてありました。冷静に読むと、何か恥ずかしくなるんですけど。

いちにのさんで、思いっきり変顔して写したんですが、後日、その写真のデータが手に入った時に分かった事がある。2人裏切り者がおるんですよ。プライドが許さなかったんでしょうね。全く素の顔ではなくて、ちょっとだけ変な顔。そんなん、変顔のうちに入らへん。それが変顔なら、私メッセージの中でどれだけやってる？

周りの人たちの顔のオモロイことオモロイこと。ほんまに人類かみたいな。その中で澄ました男の子が1人、女の子が1人。この2人、よく見たら美女とイケメンに見えて来る。はっきり言って、並みの顔だと思います。しかし、あまりにもケツタイな顔に囲まれていると、比較の対照がずれているので、普通の顔でもめちゃくちゃイケメンに見えるんですね。

多くの人が「真面目に生きて来たし、罪なんか関係ないわ。罪と全然関係ない生活して来ました」と仰るのは、比較する罪の対照が、あまりにも極端にひどいものを物差しにしているからではないでしょうか？最近では、親が子供を虐待死させるとか、子供が親を殺すとか、妻が夫を、夫が妻を。本来愛し合うべき関係の中で命を奪い合ったり、読まなきゃ良かったというニュースが何と多い事か。

そういうものと比較すると、「そんなひどい事、私はしない」と随分マシに見えます。「人生の中で、これからもしないだろう。」しないと思いますよ。でも、対照が違う。それで「自分は罪がない」という考えはおかしいのです。物差しが違っているから。

聖書に「神があなたをお調べになっても、あなたは大丈夫か」という言葉があるんです。世間一般には、私は刑務所に入れられる事はした事がない。だけど、神様の聖さの前に立った時「私は大丈夫ですよ!」と胸を張って、「罪なし!」と主張できる人は誰もいない。神が物差しなのです。「神はいない」となると“物差しがない”という事だから、自分が罪人かどうかは自分で決められる。だから、罪が分からないんです。

罪が分からない理由の2番目：罪の定義についての誤解があるから

罪とは、一般的には法律を破る事・警察に捕まる事・裁判で有罪判決を受ける事。だから「私関係ない」となるのですが、聖書が言う罪は法律違反を指しているのではなく、『創造主である神から離れて、神を人生の中から除外する生き方をする事』です。神に背中を向けて「たとえ神がいたとしても、私とは関係ない。」と、神と関係を断ち切って生きる事、自分1人で人生を完成できると考えて生きる事が罪なのです。

数年前、ある女性から「私の父のお見舞いに行ってくださいませんか?」と依頼されました。お父様は末期の癌。ご本人が「来てください」と言っていないのに行くお見舞いって、中々気が引けるもので、何回か「帰れ!」という事があったので、どうしようかなと。

「高原さん、どうかいらしてください。父は聖書の話、大嫌いなんです。」余計勘弁して。私それ苦手。「集会も1回も行った事がなくて、神様の話したら怒るんです。でも、高原さんのYouTubeは見てます。だから、あの調子でやってください。」あの調子って、そんな事は出来ませんよ。だけど、私は初対面だけど、向こうは初対面じゃないからの事でお会いしました。

大きな総合病院の特別個室で、上場会社の幹部を引退なさり、色んな方から尊敬されて、人格的にも私など足元にも及ばない立派な方。「どうやってお話したらいいのかなあ。」そしたら、向こうの方から聞いてくださった。「私は神にではなく、自分に頼って生きて来たし、罪とか言われても、そんな恥ずかしい生き方はして来なかったよ。」はっきりと。

そこで、質問を少し変えてみました。

「でも A さん、人生の中で後悔した事ありませんか?」「後悔か。人間だから後悔した事はあるよな。」
「そうですか。後悔はどのような時にするものでしょうか?」沈黙の時間が長く続いたので、「正しいと分か
っていないながらやらなかった時、そして、いけない事だと思いながらやめる事が出来ない。敢えてやってし
まって、しなきゃ良かったという時に後悔するんじゃないでしょうか。これが罪ではないでしょうか。」

すると、「そういうタイプの選択はした事がない」と仰ったんです。これ、すごくないですか?
「正しいと分かっている事は大抵やった。いけないと分かっている事は、私はしない」という事ですよ。
「うわっ! ええっ!」もう変顔や。

「でもな、正しい事だと信じて、後で間違っていたと気づいて後悔した事はある。自分ではこれがベスト
だと、良かれと思ってやったのが裏目に出て、された本人には最悪だったという事が、何年も何十年も経
って明らかになって、今更過去に戻る事ができないから取り返しがつかない。何て事をしてしまったん
だというのはある。」

実は、息子さんが大きな問題を抱えている方だったんです。「私は子育てで失敗した。」
「正しいと信じて、でも間違っているという事は、やっぱり人間は完全じゃないですよ。」
「そうだ。もし完全な方がいて、私たちを助けてくれるんだったら、それは素晴らしい事だ。」彼の方から。
「それが、神様という方ですよ」と申し上げました。その時は、神を信じるとか、キリストを信じるとか
言わなかったんですが、後日別の方が訪問して、はっきりとイエス・キリストを信じたんです。

多くの方は「私は有罪判決を受けた事がないから」と言うけど、一番根本的な罪・祝福の源から離れて、
自分の力だけで人生を完成させようとしているので、裏目に出る事が多いんです。
人は自分で自分を完成する事は出来ない。祝福の源から切れているので、良かれと信じてやった事がひ
っくり返る事があるんですね。

でも、神は完全な祝福の源なので、今までの様々な傷や恥も、意味あるものに変える事が出来るのです。
神という最高に良い方から離れている事が罪だとするならば、皆さん、いかがでしょう?
私の人生に、神を受け入れて生きて来ただろうか? そうでないなら、それが罪なのだと言書は語ります。

罪が分からない理由の3番目; 自分自身を実際以上に高い立場に置き、神を実際以上に低く置くから
私は 35 歳の時に、フルタイムで聖書のメッセージを伝える働きに専念しようと会社を辞めました。
そして、全国でお話をする機会に恵まれ、1 回行くと大体 2 週間。30-40 代の時は 3-4 週間、ざらでした。

その時子供たちがまだ幼くて、自分がいない間に生活がだらけたらアカンと思って、いくつか約束事を
置いて行くんです。次男がまだ小学校 1 年か 2 年くらいの時だったと思いますが、「お父さんがいないか
らって、だらだらした生活ダメだぞ。9 時まで寝ること」とかね。
家内も疲れ果ててますから、自分の時間が欲しいという事もあるし。「ちゃんと約束してね。」「はーい!」

で、2 週間伝道旅行に行きました。そして、0 時前くらいにヨレヨレになって帰って来て「ただいま」と
ドアを開けたら、次男が「おかえりー!」。夜中の 12 時やっちゅうねん。嬉しいけど、あかんやん。
父の言いつけを守ってないのか? お父さんとの約束を簡単に破ったのか?

カチンときたので、「約束を破るって悪い事だよ。9 時に寝るって約束したのに、今何時だと思ってんの?」

早く寝なさい!」バーンと怒って、メソメソしながら寝室に入る彼を見ていたら、家内が来て「ちょっといい? あの子、2週間毎日9時に寝てた。だけど、今日はお父さんが帰って来るから、眠たいんだけど、ほっぺたをつねりながら、『お父さん、おかえり』言おうと思って、頑張ってるよ。相手の言う事も聞かんと頭ごなしに叱って、あれは良くないと思う。」

ガーン! 「しまった…」と思ったんですが、子供に謝れないんですね。

私、10年間営業マンをやってきました。営業は常に頭を下げる仕事ですよ。「買ってください」と頭を下げ、「納期、待ってください」と頭を下げ、「トラブル、ごめんなさい」と頭を下げる。

社内では上司に、社外ではお客さんに頭を下げる。頭下げるのに慣れて、それで腰痛になったんちゃうか? 謝るのはお手の物だと思っていました。常に謝っているんですから。謝るのが仕事みたいな。

なのに、自分の子には「深い話も聞かずに頭ごなしに言って、ごめんな」と言うのに2-3日かかった。

目上の人・上司・お客さんには「ごめんなさい」とすぐ言えるのに、なぜ子供には言えないのか?

私の方が立場が上だからです。自分よりも小さな存在や位が低い、或いは対等だと思っている存在に対して、中々へりくだる事が出来ないんじゃないじゃありませんか?

神様は人間と対等ではありません。全宇宙の作者です。全てのものをお造りになった根源である方です。人と神は対等じゃない! 神は偉大な方です。その偉大な方を引き下げ、小さな私を引っ張り上げるなら、神に向かって「ごめんなさい」と言うのが難しいのは当然です。

この高慢が、人に罪を認めさせない大きな理由なのです。

しかし「神とはどんな方か」が分かって来ると、私たちの心は溶けるに違いありません。

この罪を神は憎んでいます。それは、罪が私たちの祝福を阻むから。

神は罪人となり果てた人を愛しておられるんです。

なぜ罪を憎むのか? 罪が私たちを不幸にするから憎むんですよ。

医療関係者は癌が嫌いでしょ? 癌を憎んでいると思います。誰だって憎むでしょう。

なぜ癌を憎むんですか? 癌にとりつかれた人を滅ぼすからでしょ? 癌は憎いけど、癌患者を愛するという事はあるじゃないですか。

罪を憎んでおられる。が、罪によって台無しにされようとしている人を、神は放っておく事が出来ないのです。神は、神から離れた罪人を愛してやまない方。

神は、祝福の源から離れた人間が罪を持ったまま死んだら、死後にどうなるかをご存知です。

裁きの世界に行く事を考えた時、何としてもそこに行かせたくないとお考えになったのです。

それで、キリストをお遣わしになりました。

I ペテロ 3:18 キリストも一度、罪のために苦しみを受けられました。

正しい方(キリスト)が正しくない者たち(私たち)の身代わりになられたのです。

「苦しみを受けさせられました」と書かずに、受けられました。

「身代わりになられたのです。無理やりに」とは書いてない。自らの意思で身代わりになられたのです。

2001年9月11日、何があったか分かるでしょう? 911と言え、アメリカの同時多発テロです。

アルカイダというイスラム原理主義のテロリストグループが、同じ日に4つのテロ事件を起こしました。

だから、同時多発テロと言うのです。人々の目に一番強烈に焼き付いているのは、やっぱりニューヨークの世界貿易センタービルに、ハイジャックされた旅客機が、乗客乗員もろとも突っ込んで行った映像ではないですか？ 初めに北タワーにズバッと入って、17分後に南タワーにも。

積んでいたジェットエンジンが、エレベーターのシャフトを伝って1階まで流れ込んで行きました。それに引火して建物が炎上し、鉄筋の鉄もグニャグニャになって、垂直にガガガと崩れ落ちた。2つの世界貿易センタービルの周りに5つのビルがあって、結局7つのビルが全部崩れ去ったのです。

白昼に起こった事で、皆びっくりして。そこにいた人たちは1秒でも早く逃げようとしてました。でも、それに逆行して突っ込んで行ったグループがあった。消防士です。このテロで約3000人が亡くなったんですが、その1割は消防士です。彼らは、そこに行かないなら死ななかつた。なぜ行ったのか？

アメリカの消防署には、ほぼもれなく掲げられている『消防士祈りの言葉』というのがあるそうです。いつでもどこでも、この祈りが口をついて出て来るように暗記していて、メロディーが付いて、歌として覚えている消防署もあるそうです。

『緊急の命令を受けた時、神よ、炎がどこで燃えていようと、尊い命を救う力を私にお与えください。年令に拘わらず、小さな子供を手遅れにする事なく助け出し、年老いた人たちを炎の恐怖から救い出す、その力を私に与えてください。どんなに小さく、か弱い叫びも聞き逃さず、素早く火を消し去る力をお与えください。私が天職に従い、人生の全てをかけて、人々とその財産を守る事が出来るようにお導きください。そして神よ、あなたの御心で、私が命召されて死んだ時には、我が愛する子と我が愛する妻に、恵みを思い切り注いでください。』

一刻も早く現場から逃げようとする人々を、かき分けるようにして突っ込んで行った、怖かったに違いない、あの消防士たちの心に流れていたのは祈りです。

『神よ、私に助け出す力を与えてください。私が天職を全うすることが出来るように。私を使って、火炎の中で苦しむ人々を救い出すことが出来るように。』

それで突っ込んで行って、被害者の1割は消防士だったと言われています。

もし人が罪人のままで死ねば、人は炎の世界に落ちて行きます。しかし、「キリストは私たちをそこから救い出すために、十字架の上で苦しんでくださった。あなたの罪の全てを、ご自分の命で償ってくださったのだ」と聖書は語るのです。この方は、死んだだけではありません。

I ペテロ 3:18 それは、肉においては死に渡され、霊においては生かされて、あなたがたを神に導くためでした。

「キリストは肉体においては十字架で死なれましたが、神の霊・聖霊によって復活されて、あなたがたを神に導くために、今も働いておられるのです。」

ペテロの手紙を書いたペテロはイエス・キリストの復活を弟子の中で最初に見た人。自分の目でキリストのよみがえりを確認した人です。ただの死ではない。本当に神が1度死なれ、そしてよみがえったという事を確認しました。

最後に1つお話をして終えたいと思います。

